



国立公文書館	
分類	
	返 赤
配架番号	3 A
	14
	82-4-2



自昭和十六年四月三十一日
至昭和十六年四月三十日

月

報 (四月分)

北支那方面軍司令部參謀部第四課

14188



配 布 區 分

參謀本部、陸軍省、總 軍	各 五
部 内(參謀部第一、二、三課 第二課調査班、報道部、副官部、經理部)	各 一
駐 蒙 軍	一
第 一 軍	九
第 十 二 軍	八
直 轄 師 團	一
獨 立 混 成 第 十 五 旅 團	一
支 隊 司	一
天津特務機關	二
河北省、北京、石門、新鄉、河南省、山西省、太原、運城、臨汾、蘇北	各 一
汾陽、山東省、博縣、潞安、海州、陽泉、芝罘、歸德、邯鄲特務機關	各 一
豫 備	九
計	七 五
附記 第一軍、第十二軍ハ特務機關關係兵團ニ一部宛送付サレ度	

目 次

第一章 政務關係事項	一
一 押收圖書標本模型整理ニ關スル件	一
二 天津特別市陸軍特務機關設置ノ件	六
三 入滿苦力對策ニ關スル件	六
四 支那側ニ勤務スル日系職員ノ休日ニ關スル件	二
五 支那人ノ訪日視察ニ關スル件	三
六 冀東殖産公司土地問題ニ關スル件	三
第二章 渉外關係事項	一六
一 河北省安國所在米人救會病院ニ關スル件	一六
二 泰國人捕虜ニ關スル件	一七
三 河北省易縣及涿源ニ於ケル伊國天主堂救會財產被害ニ關スル件	一七
四 英國人宣教師「アラシベンソン」抑留ニ關スル件	一八
五 芬蘭將校北支見學旅行ノ件	一九

六 陸日獨逸武官「クレツチユメル」大佐北支見學旅行ノ件 一八九

第三章 交通關係事項 二〇

一 輸送統制關係 二〇

二 港灣關係 二六

三 鐵道關係 二九

四 自動車關係 三〇

五 北支小運送業ノ統制 三〇

六 治水水利關係 三一

七 建設總署關係 三三

八 其他 三三

第四章 産業經濟關係事項 三三

一 金融通貨關係 三三

二 專業審査關係 四四

三 其他 四七

第一章 政務關係事項

一 押收圖書標本模型整理ニ關スル件

現在軍ニ於テ押收シアル圖書、標本、模型等ヲ左記要綱及實施要領

ニ基キ整理スルコトトセリ

左記

(一) 整理要綱

1. 方針 北支ニ於ケル舊政權ニ屬スル官衙、學校、文化機關等ノ

所有ニシテ現ニ軍ニ於テ管理セル圖書、標本、模型等ヲ速ニ整

理シ以テ死藏セル資料ヲ活用セシム

2. 整理要領 整理ハ各地別ニ整理委員會ヲ構成シ委員ニヨリ實施

シ軍ニ於テ利用スルモノ、禁書及然ラザルモノトニ三分シ前二

者ハ軍保管後者ハ華北政務委員會ニ返却

3. 經費、整理委員ノ人件費ハ各整理委員ノ所屬機關之ヲ負擔シ總

(二) 整理實施要領

ノ整理委員會ノ組織

(1) 中央整理委員會ハ北京ニ置キ委員長ハ北支軍參謀長トシ委員ハ2
多田部隊本部、興亞院華北連絡部、華北政務委員會、滿鐵北支
經濟調査所華北交通株式會社、北支那開發株式會社ヨリ選出シ
北支軍司令官之ヲ命シ又ハ依囑ス

(2) 地方委員會ハ必要ニ應シ北支軍直轄部隊ノ管區毎ニ設ケ委員長
ハ當該部隊ノ參謀長トシ委員ハ軍官民中ヨリ部隊長之ヲ命シ又
ハ依囑ス

(3) 簡所委員會ハ北支軍直轄部隊長ニ於テ前項ニ準シ必要ト認ムル
簡所ニ之ヲ設ク

2. 各委員會ハ被整理簡所毎ニ整理實施要領ヲ作成スルモノトス

3. 整理取次區分ノ範圍
(1) 軍ニ於テ利用スルモノ
兵要地誌關係ニ屬スルモノ

(四) 禁書

A 共產黨及共產主義ノ宣傳物ニ渡ルモノ

B 舊國民黨及舊國民政府ノ宣傳刊行物

C 抗日意識ヲ培養シ或ハ新民主主義ニ反スルト認メラルモノ

(1) (2)ニ關スルモノハ整理委員會ニ於テ整理ノ上目錄ヲ作成
スルモノトス

(3) 前項以外ノモノハ華北政務委員會ニ於テ整理シ目錄ヲ編製スル
モノトス

4. 圖書類中禁書ニ屬スルモノハ軍ニ於テ保管ス

軍ニ於テ利用スル圖書ハ必要ニヨリ圖書館ヲ設置スルカ又ハ軍
外機關ニ貸與スルコトヲ得

一、第三國系學校教會及事業整理實施要領正ニシテスル件

第三國系ノ學校、宗教團體及事業等ノ内ニハ東亞ノ新事態ヲ認識シ
セズ陰ニ陽ニ我方ノ工作ニ積極的ニ妨害ヲ爲シ或ハ消極的ニ忌避

スルノ態度ヲ執リ我北支黨設ノ障礙タルモノ多キ現状ニ鑑ミ之ガ指導ヲ強化シ或ハ整理肅正ヲ爲シ以テ我文化工作ノ進展ヲ圖ル爲シ左記各要領ヲ配布シ之ニ基キ強力ニ指導又ハ整理肅正スルコトトセリ

左記

- (一) 第三國系學校整理要領
 - (二) 第三國系教會肅正要領
 - (三) 第三國系學校整理後ノ善後措置要領
 - (四) 第三國系學校並ニ教會整理肅正ニ伴フ社會教育施設及社會事業施設ノ處置要領
- 然レ共徒ラニ第三國ヲ刺戟シ或ハ未解決ニ終ル虞アル緊争問題ヲ惹起スル等ノコトハ十分ニ考慮シ實際的効果ヲ收ムル如ク細心ノ注意ヲ拂フコト
- 尙重要事項ノ處置ニ當リテハ豫メ當方ニ連絡ノ上措置シ又處置セ

ル事項ハ逐次報告スルコトトセリ
参考ノ爲配布セル書類左ノ如シ

- (一) 修正私立學校規定
- (二) 外國人及其ノ團體ノ中國領土内ニ於テ小學校ヲ設立スル疑義ノ解釋
- (三) 既ニ停止セルカ又ハ閉鎖セル私立學校ニ對スル處置辦法
- (四) 學生ノ教育部ヨリ設立ノ許可及公認ナキ私立學校へ受験セザル様布告ス
- (五) 宗教團體教育事業經營處理法
- (六) 宗教團體ノ學校設立制限
- (七) 北支第三國教會諸派並ニ其ノ系統一覽表
- (八) 北支第三國中央統籌機關一覽表
- (九) 内地外國教會租用土地房屋暫行章程
- (十) 一八五八年支那ト英米佛露諸國間ニ結ハレタル天津條約

出ベルトミ協約

支那總理衙門ノ各省總督巡撫ニ對スル示達

行政執行法

二天津特別市陸軍特務機關設置ノ件

從來天津陸軍特務機關ヲシテ天津特別市及冀東、津海、渤海ノ三道ヲ管掌セシメアリタルモ特別市ノ重要性ニ鑑ミ之ガ指導ノ徹底ヲ期スル爲四月二十五日新ニ天津特別市陸軍特務機關ヲ設置ス

右特務機關ハ方面軍直轄トシ警備治安（涉外事項ヲ含ム）ニ關シ第二十七師團長ノ區處ヲ受ケ從來ノ天津特務機關トハ業務者ヲ多クシ一体トナリテ活動シ得ル如クセリ

三入滿苦力對策ニ關スル件

滿洲國ノ國防國家トシテノ諸建設ノ増大ト産業開發五ヶ年計畫ニ伴フ生産力擴充計畫ノ急激ナル進展ハ必然的ニ老ナル勞働力ヲ必要トシ之ニ對應スル爲ニハ滿洲國ノ人口構成ヲ以テシテハ國內勞働力

供出ニノミ之カ補給ヲ求メルコトハ到底不可能ニシテ滿洲國力其ノ人口構成發展ノ爲ニ歴史の依存性ヲ有スル北支勞働者ノ移入ニヨリ供給ノ調整ヲ計リツツアリシ現狀ナリシカ本年ニ入り昨年度ニ比シ約四五%ノ減少ヲ示シアリ之カ原因ヲ探究シ緊急對策ヲ講シタキ旨關東軍ヨリ申來ルタメ方面軍ニ於テハ四月四、五日ノ二日間滿洲側ヨリ關東軍縣川參謀以下三名及政府代表部、勞工協會、土建協會、滿炭等代表者八名ヲ迎ヘ北支側ヨリ軍、與亞院華北連絡部、新民會華北交通會社等代表者參列ノ上協議會ヲ開催セリ

本對策會議ノ結果入滿勞働者激減ニ依ル本年度緊急對策トシテ滿洲北支間ニ於テ左記ノ如ク決定セリ

入滿勞働者ニ關スル申合

昭和一九四五年
於滿洲北支勞務對策會議

本年度入滿勞働者ノ激減カ滿洲ニ於ケル國防建設並生産力擴充計畫ニ甚大ナル支障ヲ及ホスノ虞レ大ナルニ鑑ミ之カ打開ノ方策ニ關シ

關東軍並北支軍當事者協議ノ結果本年緊急對策トシテ別紙ノ如ク申
合ヲ爲シ之カ速急實行ニ依リ入滿勞働者供出計畫目標ノ達成ニ遺憾
ナキヲ期スルモノトス

一、募集人員

昭和十六年度對滿供出勞働者八百万人ヲ確保スルヲ目標トシ滿
洲及北支ハ相互緊密ニ協力シ之カ供出ニ必要ナル方策ヲ講スルモ
ノトス

二、治安工作ト勞働者募集トノ連繫

討伐作戰及之ニ伴フ政治工作ト勞働者募集工作トヲ密ニ連繫セシ
メ滿洲側勞働者取得ニ遺憾ナカラシム

三、爲替管理

入滿勞働者ニ關スル滙金及貯歸金ハ原則トシテ制限セサルモノト
ス但シ本年二月東京ニ於テ決定セル滿支間國際收支計畫ニ影響ヲ
及ホササルモノトス

四、募集地域

昭和十五年十月八日協定ニ基ク募集禁止地域ハ別紙ノ如ク改訂ス
ルモノトス

五、身分證明書

入滿勞働者ニ關スル現行ノ良民証、旅行證明書ノ特別取扱ハ狀況
ニヨリ本年末迄延期スルト共ニ之カ運用ニヨリ個人勞働者ノ入滿
ニ支障ナカラシムルモノトス

六、入滿勞働者出稼奨励工作宣傳

北支側ハ滿洲側ノ北支ニ於ケル勞働者募集ニ必要ナル宣傳工作ニ
對シ積極的援助ヲ與フルモノトス

七、對滿移住者ノ積極的奨励

滿洲側ハ工礦業部門ニ於ケル家族持勞働者ノ移住定着ヲ積極的ニ
實施スルト共ニ北支ニ於テモ之ニ協力シ特ニ治安其他ノ關係上強
制移住ヲ必要トスル場合ハ優先的ニ滿洲ニ移住セシムル如ク措置

スルモノトス之カ實施ノ細部ニ關シテハ別途協議スルモノトス
八 滿洲側ハ勞務管理就中福利施設ヲ改善シ進ンテ應募スル如ク施策
スルト共ニ敵側ノ募集妨害宣傳ニ乘セラレサル如ク努ムルモノト
ス

募集禁止地域

一 都市關係 北京特別市、天津特別市、唐山、保定、石門、開封
及此等各都市周邊十軒

二 港灣關係 青島港（舊市内）、秦皇島、塘沽、連雲港及此等各
港灣ノ周邊十軒

三 炭礦關係

一 縣 宛平縣、井陘縣、平定縣、磁縣、彰德縣、修武縣、
沁陽縣

二 地域

開礦、長城、柳江、章邱、淄川、博山、華豐、華寶
中興各炭礦及其周邊十軒

諒解事項

一 華北勞工協會ノ運用ニ關スル件
華北勞工協會設立後ニ於ケル其ノ募集方法ニ關シテハ滿洲側ニ與
フル影響ノ甚大ナルニ鑑ミ滿洲ニ於ケル勞務管理ノ實態ニ照應シ
概ネ從來ノ募集統制ノ方法ニ依ルコトトシ急激ナル變革ヲ加ヘサ
ルモノトス

二 滿華ニ於ケル労働供給ノ現況ニ鑑ミ滿洲及華北ヲ通スル勞力配分
ノ適正化ヲ圖ルモノトス
之カ爲滿華勞務連絡會議選用ニヨリ滿華相互ノ労働ノ實態特ニ石
炭労働、労働條件等ニ關シ共同調査セシメ之カ合理的調整並ニ相
互ノ協力ニ資スルモノトス

尙右ノ申合セハ目下労働者出廻リ最盛期ナルニ鑑ミ至急地方軍官民
末梢機關迄徹底セシメ凡百ノ手段ヲ以テ一切ノ滯滯原因ヲ排除スル
コトトセラレタリ

特ニ各地區劃當敷ニ拘泥スルコトナク勞働者供出ニ協力シ諸手續ヲ簡易化スルコトトセラシ

四支那側ニ勤務スル日系職員ノ休日ニ關スル件

日系職員トシテ支那側ニ勤務中ノ專員技術官敎授敎官及委任官以下竝ニ會社協會銀行員等ノ休日ニ關シテハ爾今左記ニ依リ關係兵團特務機關及在北京大使館竝ニ與亞院華北連絡部ニ於テ指導スルコトニ決定セリ

左記

一、支那側ノ定メタル休日ニ休務スルヲ本則トス

二、日本ノ四大節ハ特ニ休日トシテ最寄日本側ノ拜賀式又ハ遙拜式ニ

參列セシムルモノトス

三、其ノ他日本ノ祭日及祝日ニ在リテハ休務セシメサルモノトス

五支那人ノ訪日視察ニ關スル件

視察ヲ目的トスル支那人ノ渡日統制ニ關シテハ兼テヨリ實施中ナリシカ最近ニ至リ各地ヨリノ訪日視察(見學)團氾濫シ之カ指導並便宜供與ニ多大ノ支障ヲ招來シツツアル實狀ナルヲ以テ將來此ノ種視察團ノ派遣ニ當リテハ春秋ノ好季節ニノミ殺到スルカ如キ事無カラシメンカ爲今後ハ特ニ必要ナルモ以外ノ渡日ハ之ヲ差控ヘシムル様兵團(特務機關)ニ望意指導方ヲ連繫セリ
又統制ノ必要上成ルヘク早期ニ二ヶ月以前計畫ヲ立テ方面軍ノ認可ヲ受クルコトトセリ

(四月十五日方軍參四密第五〇五號)

六冀東殖産公司土地問題ニ關スル件

一、冀東政府ハ臨時政府ノ接收セル所ニシテ其ノ所辦事項ハ臨時政府之ヲ有効トシテ處理シタルモノナルヲ以テ冀東政府カ其ノ所有地(官有地)ヲ冀東殖産公司ニ讓渡シタルモノナル以上其ノ讓渡行

爲ハ之ヲ有効ト認ムヘキモノトス尤モ該公司ハ其ノ所有權取得ノ登記ヲ爲シアラサルヲ以テ本件土地ヲ耕作スル農民カ法律上耕作權ヲ有シタルモノナル時ハ之ニ對シ其ノ所有權取得ヲ以テ對抗シ得サルヘキモ登記ノ元來對抗要件ニ過キササルヲ以テ登記ノ有無ハ所有權取得ノ効力ニ影響スルコトナシ而ノミナラス支那ニ於テハ登記ハ事實上未タ完全ニ行ハレアラス法院ハ實際上地券（執照）ノ授受ヲ以テ物件取得ノ對抗要件ト爲シ居ルヲ以テ冀東政府ヨリ土地執照ノ交付ヲ受テ該土地ノ所有權ヲ讓リ受ケタル冀東殖産公司ハ完全ニ該土地ノ所有權ヲ取得シタルモノト認ムルヲ妥當トス

二 賣買價格ハ當時ノ社會的情勢ニ應シ冀東政府カ適正ト認メ定メタルモノニシテ相手ノ經濟的窺迫ニ乘シ不當且廉價ニ買受ケタルモノニ非サルヲ以テ問題トスヘキモノニ非スト思考セラレ

三 農民ノ耕作問題及開墾曠務局トノ紛争問題ハ之ヲ法律上又ハ政治

上解決スヘキモノト思考スルニツキ可然指導アリ度

四 該土地ヲ刻下ノ情勢ニ最モ適應スル如ク活用セシムル様殖産公司ヲ指導スルコト肝要ナリ

第二章 涉外關係事項

一 河北省安國所在英人敎會病院ニ關スル件

日 時 二月十一日

場 所 河北省安國

未 解 決

本件ニ關シ在天津英國總領事ヨリ同地日本總領事ヲ通シ「河北省安國所在「チャーチ、オブ、イングランド、ミツション」經營病院ハ一九二七年ニ設立セラレ支那人醫師一名竝ニ英國籍婦人宣敎師及看護人一、兩名勤務シ居リタル處昨年九月右支那人醫師ハ八路軍ノ爲拉致セラレ其後同病院ハ外來患者ノ診療ノミヲ取扱フコトナリ「ミス、ブリース」「ミス、ウイルディング」ノ三英國婦人齎留スルコトトナリタリ、次イテ一昨年日本軍ノ安國占領以來同病院ハ屢々日本軍ノ檢査ヲ受ケタルカ十一月十一日武装セル多數ノ日支人同病院構内ニ侵入シ來リ各病室及病臥中ノ「ミスブリース」及「ミス、パンネル」ノ寢室ヲモ捜査センコトヲ主張シ、且同病院ハ八路軍ト

關係アルヲ以テ燒拂フヘシト述ヘタリ」ト申入レアリタルヲ以テ目下實情調査中ナリ

二 泰國人捕虜ニ關スル件

日 時 昭和十五年十二月二十三日

場 所 山西省靜樂縣湯溝村

解 決

昨年未篠塚部隊ニ於テ共產軍ニ投シ政治工作ニ從事シアリシ泰國人一ヲ捕虜トセリ

右ハ取調ノ結果大シタル代物ニ非サリシヲ以テ中央トモ打合ノ結果處置ヲ北京憲兵隊ニ一任セリ

三 河北省易縣及涑源ニ於ケル伊國天主堂教會財産被害ニ關スル件

本件ニ關シ在上海伊太利大使館ヨリ日本總領事ヲ通シ左記ノ如キ申入レアリタルヲ以テ目下實情調査中ナリ

左 記

一 昭和十四年七月 易縣西方約三十六軒ノ地點「シ、ク、シエン」

ニ於ケル學校及禮拜堂トシテ使用中ノ建物一棟燒失

二 昭和十四年十一月十一日 涑源ノ東南方約五四軒ノ地點「ウム、テ

イ」ニ於ケル家屋、學校、禮拜堂燒失

三 昭和十五年十一月廿三日 易縣ノ西南約四五軒ノ地點「シ、シヤン

ナン」ニ於ケル家屋、學校、教會等ノ燒失

四 英人宣教師「アランベンソン」抑留ニ關スル件

豫テ甘肅部隊ニ於テ取調中ノ「アランベンソン」一味ニ對シテ三月

三十日同部隊軍律會議ニ於テ左記ノ如ク判決言渡シ夫々釋放セリ

左 記

被告「アランベンソン」ヲ監禁六月ニ處ス

被告樊家川ヲ監禁四月ニ處ス

但被告「アランベンソン」ニ對シテハ未決拘留日數中百八十四日ヲ被

告樊乘川ニ對シテハ百二十二日ヲ右本罰ニ算入ス
被告樊乘山ハ無罪

五芬蘭將校北支見學旅行ノ件

在京芬蘭將校「カイラ大佐、ライネ大尉」(誘導官陸軍大尉樋口欣二)ハ大本營ヨリ北支戰跡見學旅行ヲ許可セラレ四月二日滿洲經由北京着北京、天津、張家口方面ノ見學旅行ヲ終ヘ四月十日塘沽發内地ニ歸還セリ

六陸日獨逸武官「クレツチユメル」大佐北支見學旅行ノ件

駐日獨逸武官「クレツチユメル」大佐ハ北支見學ノ爲四月七日東京ヨリ北京着北京、張家口、濟南方面ノ戰跡見學ノ上十五日北京發滿洲經由歸京セリ

第三章 交通關係事項

一、輸送統制關係

ノ五月分物資輸送計畫ニ就テ

第一 鐵道ニ據ル物資輸送計畫

(一) 軍 需 品 (除石炭)

日 額 四三一車

(二) 社 用 品 (除石炭)

日 額 四九九車 (内二九車ハ專用列車ニ依ル砂利輸送)

(三) 民 需 品 (除石炭)

日 額 一二五五車

計 二、一八五車

但シ

宣化發鐵礦石 塘沽宛ハ日額 三三車

壺盧嶋宛ハ日額 三〇車
 石景山宛ハ日額 三車

唐山、雷莊、朱各莊、碑
 家店發、築港用割石 塘沽宛ハ日額 五八車

頭泉發建設總署用砂利 藁城良村宛ハ日額 二五車
(十日迄)

南口發 永定門宛ハ日額 五車

盧溝橋發 黃村宛ハ日額 四車

長發 永定門宛ハ日額 一六車
 滿洲宛ハ日額 五車

太原北站發石膏 唐山宛ハ日額 三車

(四) 石 炭
 一、軍 用 (日額) 一三三〇車 (内〇四ハ「コークス」輸送
 一、地區内
 口、地區外

陸 軍 二六二車
 海 軍 一七六車

計 一六六八 (内〇四車ハ「コークス」輸送
 2 鐵道用 (日額) 一九〇〇車

3. 其 他 (日額)
 1. 軍管工 一一〇九車 (内五〇車ハ「コークス」輸送)

口、輸移出用
 日本向 五一三〇車
 滿洲向 六〇〇車
 中支向 一四〇〇車 (内三〇車ハ「コークス」輸送)
 八、船焚用 三七〇車
 二、民需用 六二五三車
 計 一四八五二車 (内七〇車ハ「コークス」輸送)
 合計 一八四二〇車 (内七四車ハ「コークス」輸送)

(一) 輸移出炭輸送ノ促進ヲ圖ル爲從來主トシテ海運ニ依存シタル對
滿石炭ヲ當月ヨリ全部陸送スルコト、シ對日石炭輸出船腹ノ増
強ヲ策シタリ

2 三月分物資輸送統制實績ニ就テ
本月ハ物動ニ依ル貨物ノ激増並ニ向暖期ニ至ル爲小運搬力ノ増進
ヲ見込ミ鐵道輸送屯數三二〇、八七一屯(計覽對實績歩合九七%
ニ及ヒ昭和十五年度有終ノ好感績ヲ消メタリ尙本月ヨリ再開セ
シ内河川輸送成績ハ二二、三二一屯(計覽實績歩合七八%ニシ
テ成績良好ト云ヒ雖キモ川開期日ノ遲延ニ起因スルモノアルヲ以
テ運航日數ヲ想合セハ相當ノ成績ナリ

三 港灣關係
北支新港築設用船舶借用ニ關シ關東軍、南滿洲鐵道株式會社ト交渉
ノ結果左ノ如ク借用成立セリ

左記

借用船舶	隻數	賃貸料	借用期間
プリストマン式 淺深船(五型)	一	一日一隻 一四〇圓	昭和十七年三月末日
五十屯級淺船 (高勝丸)	一	一七〇圓	二十日間
石材運搬船	一〇	一二圓	昭和十七年三月末日
五十屯級起重機 船(永代丸)	一	四七〇圓	

三 鐵道關係

本年度石炭増産計畫ニ即應スヘキ炭鑽引込線構築計畫ヲ概ネ左ノ如
ク概定シ關係機關ニ對シ之ヲ具現ヲ促進セシム
引込線構築計畫ノ概要

八 方針

昭和十六年度北支石炭増産計畫ノ實現ヲ期スルト共ニ十七年度以
降ノ増産計畫ニ資シ併セテ資材ノ活用ヲ計ル爲炭鑽運炭線

準軌一ノ具體的爲設計暨ヲ鐵ヲ交通會社ヲシテ實施セシムルモノトス

2. 要領

- (1) 運炭線ノ資材ハ原則トシテ總テ交通株式會社ニ於テ調達シ資金ハ各運炭線ノ狀況及將來ニ於ケル建設計暨等ヲ考慮ノ上負擔箇所ヲ決定シ工事ノ實施ハ交通會社ニ當ラシムルモノトス
- (2) 運炭線ノ重要徑並ニ急施ヲ要スル實情ニ鑑ミ資金資材ノ取得、工事ノ進捗ニ即シテハ軍、與亞院及關係箇所ニ於テ凡有援助ヲ與フルモノトス
- (3) 運炭線ノ建設ニ當リテハ炭礦開發用資材ノ運搬及治安ノ確保ヲ主眼トシ出炭狀況ニ應シ逐次施設ノ整備ヲ圖ルモノトス
- (4) 本計暨中ノ各運炭線竣功期限ハ極力之カ短縮ヲ計ルト共ニ計暨外ノモノト雖モ炭坑ノ開發狀態ニ應シ適宜考慮スルモノトス
- (5) 本計暨ニ對シ重要ナル變更ヲ要スル場合交通會社並當該炭礦會

社ハ速ニ報告スルヲトス

3. 實施箇所及工事ノ程度

- | | |
|------|-----------------------------|
| 中興 | 陶莊區域堅抗引込線（約四杆）ヲ完成ス |
| 柳泉 | 改軌完了 |
| 井徑 | 井徑站雪花山間（約五百米）ヲ完成ス |
| 新泰 | 測量ヲ完了シ工事一部竣功 |
| 孤山 | 三舖站線路施設増設並改良ヲナス |
| | 新泰博山間（約一一五杆）ノ測量ヲ完成シ路線ヲ決定ス |
| 章邱 | 普集站ヨリ章邱ニ至ル（約六杆）完成ス |
| | 明水站ヨリ西章邱ニ至ル（約十八杆）測量ヲ完成ス |
| 淄川博山 | 八陡線途中積込施設ノ改良及大昆崙其他積込線ノ測量ヲナス |
| 壽陽 | 壽陽黃丹溝間（約十六杆）ヲ完成ス |

湯陰 焦作憑心

湯陰鶴壁集間（約二十三杆）ヲ完成ス
常口站ヨリ約二杆ヲ完成ス（資材ハ李河站附近ノ現
存線ヲ融通シ不足資材ヲ補給スルモノトス）

長城柳江

秦皇島炭礦間（約二十七杆）測量ヲ完了ス

門頭溝

門頭溝站中英炭礦引込線ヨリ分岐シ約四杆ヲ完了ス

開灤外廊

調査中ナルヲ以テ之カ結果ヲ俟テ測量ニ着手ス

武安

邯鄲站武安間約十七杆測量ヲ完了ス

曲陽

定州站曲陽間約四十杆測量ヲ完了ス

四 自動車關係

北支ニ於ケル自動車石炭瓦斯新發生爐ノ整備ニ關スル指導要領ヲ左ノ
如ク決定シ之カ普及ヲ促進ス

左記

(一) 北支自動車工業株式會社ヲ增資シ（在北支日本自動車株式會社ヲ
統合ス）石炭瓦斯新發生爐ノ購入配給並現地ニ於ケル製作修理ヲ實

施セシム

(二) 差當リ前項北支自動車株式會社以外ノ石炭瓦斯新發生爐製作ノ爲ノ
新設工場ハ認メサルモノトシ該會社ノ事業ヲ促進助成ス

(三) 華北交通會社自体用ノモノハ取敢ス内地ヨリ製品ヲ購入セシム

(四) 石炭瓦斯新發生爐ノ型式ハ中央ノ指定スル型式ニヨリ北支一色トス
ルモ可及的即急ニ北支ニ進出シ得ルモノヲ希望ス

(五) 華北交通株式會社ヲシテ計畫的ニ實用試驗ヲ行ハシメ大陸適應ノ
改良ヲ行フ

五 北支小運送業ノ統制

北支ニ於ケル小運送業ヲ統制シ其能力ヲ向上シ鐵道、水運、自動車
、運輸トノ一貫有機的交通體勢ノ確立ヲ期スル爲從來北支ニアリタ
ル國際運輸、福昌公司及其他ノ群小運送業者ヲ統合シ大陸運輸株
式會社ノ設立スヘク中央ニ對シ之カ具体案ヲ具申ス

六 治水水利關係

1. 昭和十六年防水対策實施要領ヲ決定シ防水ニ完璧ヲ期スル如ク措置ス

2. 獨流入海減河處理ニ關スル根本方針研究ノ爲現地偵察ヲ實施ス

3. 東亞研究所ノ黃河處理ニ關スル報告會ヲ開催ス

七 建設總署關係

1. 建設總署本年度追加豫算案ヲ左記方針ニ依リ立案ス

左記

昨年十一月ニ民國三十年度建設總署工事豫算三千百萬圓案ニ關シ重要ナルモノヲ決定セラレタルモ豫算二千八百萬圓トナリタルヲ以テ一部ノ工事ヲ見合セシタルト其後狀況ノ推移ニ依リ更ニ工事ヲ追加シテ計上復活セシメシモノナリ

2. 本月中建設總署ニ對シ新ニ工事ノ實施ヲ指示セル（與亞院華北連絡部ヲ通シ一事項左ノ如シ）

左記

(1) 新郷北關橋、橋梁ハ例年増水時舟艇ノ通過ヲ不可能ナラシメ之カ爲中途卸下ノ不便アルノミナラス本橋梁ニ依リ水流ヲ遮キリ新郷浸水ノ虞レアル爲工事費四萬五千圓ヲ以テ至急改築スル如ク指示ス

(2) 西直門站及清華大學ヨリ北京一萬壽山ニ至ル道路ハ解氷期後路面ノ凹凸甚シク車ノ患者檢送上尠カラサル困難ヲ來シアルニ付工費一萬圓ヲ以テ補修スル如ク指示ス

3. 河北省新城縣十里鋪附近大清河ハ永定河上流ノ解氷ニ伴フ増水ノ爲橋梁ヨリ約三百米下流屈曲部附近ニ於テ流水右岸ニ激突シ十里鋪ノ民衆ヨリ約十數米ノ地點迄浸蝕セラレツ、アリテ此ノ儘放置スル時ハ現地醫備除宿舍及部落ハ流失ノ虞アリ民衆ハ動搖シアアルヲ以テ速ニ之カ災害防止ノ工事ヲ一萬圓ヲ以テ實施セシムル如ク指示ス

八 其他

兵站總監部ニ係屬察團來燕ニ際シ交通關係者ト懇談會ヲ實施ス

第四章 産業經濟關係事項

一、金融通貨關係

(一) 舊通貨處理要領改訂ノ件

聯銀券ニ對スル信用ノ確立ト最近ニ於ケル法幣價值ノ動搖ニ因リ
兩者ノ價值比率ノ變動セルコト及從來ノ聯銀券地區ニ於ケル聯銀
券舊通貨混合流通シアル實狀ニ鑑ミ從來ノ舊通貨處理ヲ次ノ如ク
改訂シ現在ノ聯銀券地區ハ之カ新要領ニ據リ再檢討ヲ加ヘ聯銀券
地區準聯銀券地區ニ區分シ舊通貨ノ徹底的或ハ逐次的ニ流通禁止
ノ措置ヲトルコトナレリ

第一 聯銀券地區ニ於ケル處理

- (一) 聯銀券地區トハ從來聯銀券カ獨占的ニ流通シ居リ舊通貨カ其ノ流
通ヲ禁止セラレアル地區トス
- (二) 聯銀券地區ハ各兵團ヨリ方面軍ニ報告スルモノトス
- (三) 聯銀券地區ニ於テハ徹底的ニ舊通貨ノ流通ヲ禁止シ違反者ニ對シ

テハ金融攪亂行爲トシテ取締辦法ニ照シ處斷スルモノトス

34

第三 准聯銀券地區ニ於ケル處理

(一) 准聯銀券地區トハ聯銀券、舊通貨カ併セ流通シ居レルモ現ニ治安肅正セラレアル地區ニシテ今後舊通貨ノ流通禁止ヲ實施シ得ル見込確實ナル地區トス

(二) 准聯銀券地區ハ各兵團ヨリ方面軍ニ報告スルモノトス

(三) 准聯銀券地區ニ於テハ今後一回限り一定ノ日ハ各兵團ノ意見ニ基キ方面軍、興亞院ハ華北政務委員會ト連絡ノ上決定スルヨリ二箇月間其ノ都度定ムル比率ニ依リ華北政務委員會ニ於テ買上クルモノトス

(四) 前項ノ比率ハ差當リ聯銀券ニ對シ四割トス

(五) 舊通貨ノ買上ハ軍ノ指導監督ノ下ニ聯銀關係機關ニテ取扱フモノトス

(六) 買上期間後ハ聯銀券地區ニ於ケルト同様舊通貨ノ流通ヲ徹底的ニ

禁止スルモノトス

(七) 本項ノ處理ハ從來名目上聯銀券地區ト稱セラレタル地區ニシテ舊通貨ノ流通禁止ヲ實施シ得サリシ地區ヲ整理スルヲ眼目トスルモノナルヲ以テ本地區ハ今後舊通貨ノ流通禁止ヲ確實ニ實施シ得ル地區ニ嚴ニ限定スルモノトス

第三 其ノ他ノ地區ニ於ケル處理

(一) 現ニ治安肅正セラレ又ハ今後肅正工作ノ行ハルヘキ地區ト雖聯銀券地區ニ指定スルコトヲ適當トセサル地區ニ於テハ舊通貨ノ買上ヲ行ハサルモノトス

(二) 今後治安肅正セラレル地區ニシテ引續キ舊通貨ノ流通禁止ヲ實施シ得ル地區ニ關シテハ准聯銀券地區ニ於ケル處理ニ準シ處理スルモノトス

35

第四 舊通貨ニ依ル公租公課ノ受入

(一) 聯銀地區及准聯銀地區ニ於テハ舊通貨ニ依ル公租公課ノ受入ハ之

ヲ認メサルモノトス

(二) 其ノ他ノ地區ニ於ケル公租公課ノ受入ニシテ舊通貨ニ依ルコト治
安工作上必要已ムヲ得スト認メラルル場合ハ現地兵團長ノ上申ニ
基キ方面軍、興亞院協議シ華北政務委員會ト連絡ノ上其ノ他區公
租公課ノ種類等ヲ決定スルモノトス

曰 舊通貨ニ依ル公租公課ノ受入ノ比率ハ其ノ都度定ムルコトトシ差
當リ聯銀券ニ對シ四割ノ率ニヨルコトトス

四 舊通貨ニ依リ公租公課ヲ受入レタル官廳ハ毎旬ノ受入額ヲ取繼メ
聯銀券係金融機關ヲ通シ華北政務委員會ニ買上ヲ求ムルモノトス

備考

一 本件ニ於ケル舊通貨トハ民國二十八年三月十日迄流通ヲ認メラレ
タル通貨(中國交通兩行ノ北方券、河北省銀行券、冀東銀行券、
山東票及山西票)中國交通兩行ノ南方券、中央銀行券及中國農民
銀行券トス

三 昭和十四年三月三日方參四普第三二九號三月十一日以後ニ於ケル

舊通貨ノ處理ニ關スル件通牒、昭和十四年四月十六日方參四普第

五〇二號隴海線以南北支軍作戰地域ニ於ケル聯銀券ノ使用並舊通

貨整理ニ關スル件通牒及昭和十四年十月十六日方參四普第八五一

號舊通貨處理ニ關スル特別措置ノ件並ニ河北省銀行券、冀東銀行

券ニ關スル昭和十四年十一月九日方參四普第九五八號冀東、河

北省兩銀行券ニ關スル件、昭和十五年二月十四日方參四普第二

一四號河北省銀行券ノ救済措置ニ關スル件、昭和十五年六月五日

方參四普第七八〇號河北省銀行券ノ償還請求ノ際ニ縣公署發給

ノ護照ヲ以テスル件通牒ハ之ヲ廢止ス

三 華北政務委員會ヨリノ通牒等ニ關シテハ前項ニ進シ適當措置セシ

ムルコトトス

(二) 小額通貨整理ノ件

聯銀券以外ノ小額紙幣及補助貨ハ「小額紙幣及補助貨整理辦法」

其ノ他關係法令ニヨリ來ル五月三十一日ヲ以テ流通期限滿了スヘキニ付滿了後ハ次ノ要領ニ據リ處理セラルコトナレリ

一、小額通貨ノ流通ハ期限滿了ト共ニ流通ヲ禁止スルモノトシ原則トシテ之カ救済ノ措置ハ講セサルモノトス

二、違反者ニ對シテハ暫行金融攪亂處罰法ニヨリ處斷スルモノトス

三、滿洲中央銀行並蒙疆銀行ノ發行スル五角券又ハ五角通貨ニ付テハ既ニ本年一月二日ヨリ流通禁止ニナリ居レル所右兩行ノ發行スル其ノ他ノ小額通貨ニ付テハ流通ヲ禁止セサルモノトス

四、右以外ノ圓系小額通貨ニ付テモ流通ヲ禁止セサルモノトス

五、河北銀錢局ノ發行セル銅元票及舊冀東政府ノ發行セル小額通貨ニ付テハ別途處理スルモノトス

六、第一項第二項ニ拘ラス聯銀券地區ニ非サル地區ノ小額通貨ニ付テハ四月十九日方軍參四密第五二二號「舊通貨處理ニ關スル件」ニ基キ處理スルモノトス

七、前各項ノ趣旨ヲ四月末迄ニ華北政務委員會ニ於テ適當衆知方取計ヲモノトス

備考

第五項ノ小額通貨ニ付テハ可成速ニ回收整理セシムルモノトス

(三) 暫行金融攪亂處罰法適用期限延長ノ件

舊臨時政府ニ於テ公布セラレタル次ノ暫行金融攪亂處罰辦法ハ本年三月九日ヲ以テ期限滿了トナリタル處更ニ之カ適用期限ヲ一年延長スルコトナレリ

臨時政府令 臨字第一六一號廿八年三月十一日(政府公報廿八年三月十一日臨時增刊所載)

第一條 本法ハ左ノ行爲アリタルモノニ適用ス

一、金融攪亂ノ行爲アリタル者

二、流通セシメ又ハ流通セシメントシテ中國聯合準備銀行ノ發行スルモノニ非ル貨幣ヲ所持シ若ハ運搬スル行爲

但シ小額通貨整理辦法ニ依リ流通ヲ認メラレタル小額通貨、蒙
疆銀行券及外國貨幣ヲ除ク

第二條 第一條ニ定ムル行爲アリタル者ハ無期懲役又ハ十年以下一
月以上ノ懲役若ハ一萬圓以下五百圓以上ノ罰金ニ處ス

第三條 第一條ノ罰ヲ犯シタル者ニシテ有期懲役ニ處スヘキ場合ハ
情狀ニヨリ罰金ヲ併科スルコトヲ得

第四條 犯罪ノ用ニ供シ又ハ供セントシタル物及犯罪行爲ヨリ生シ
又ハ之ニ因リ得タル物ハ之ヲ沒收シ其ノ全部若ハ一部ヲ沒收シ得
サルトキハ相當金額ヲ追徴ス

第五條 第一條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六條 本法ノ有効期間ハ公布ノ日ヨリ一ケ年トス

第七條 本法ハ臨時政府公布ノ日ヨリ施行ス

(四) 滯留圓系通貨交換ノ件
芝罘特務機關管下ノ一部ニ滯留シアル滿洲中央銀行、朝鮮銀行、

(五) 日本銀行、各券合計一五八萬圓餘ニ關シテハ特別措置トシテ今回ニ
限り交換セシムルコトトセリ

從來蚌埠ニ於テハ混合第一四三列車ノ徐州以南ヨリノ乗客及徐州ニ
テ交換洩レノ乗客ニ對シ携帶通貨ノ交換ヲ實施シアラサリシモ聯銀
券工作上遺憾ナ點モアルヲ以テ總軍トモ接衝ノ上四月十五日ヨリ交
換ヲ實施スルコト、ナレリ

(六) 濟南銀行德縣支店開設ノ件
該行德縣支店開設ハ邦人ヲ業務對照トシテ魯興銀行支店トノ競争ヲ
避ケルコトヲ條件トシテ認可セラレ

(七) 無許可輸入貨物ノ處理ノ件
聯銀ノ發註承認又ハ無爲替輸入許可ヲ受ケスシテ現ニ華北内ニ到
着濟ノ貨物少カラス特ニ小包便ニヨル無爲替輸入纖維製品ノ滯貨ハ
約三八〇萬圓ニ達シアル現狀ナルニ付左記ニヨリ之カ處置ヲ爲スコ

トトセリ

左記

第一、到着済織維製品ニ關スル處理

一、現在到着済ノ織維製品ニ關シテハ一ヶ月内ニ調整料(品種別調整料率ハ省ク)ヲ華北織維組合ニ納入セシメ内組合ノ副申書ヲ添附シタル場合ニ限り聯銀ハ無爲替移入ヲ許可スルコト

二、右一ヶ月経過後華北織維商組合ヨリ副申書ヲ取得シ得サル貨物ハ關係當局ニ於テ適當處分シ(事實上華北織維商組合ニ歸屬セシメ代金ハ調整料トス)移入者ニハ何等補償ヲ爲ササルコト

三、前二項ノ趣旨ハ適當ノ方法ニヨリ之ヲ發表スルコト
第三、今後ノ處理

聯銀ノ發註承認又ハ無爲替移入許可無キ場合ハ郵便、鐵道等ニヨル移送ヲ引受ケサル様華中運務部ヲ通シ關係方面ニ依頼スルコト

左記

一、中支ヨリ北支宛輸移出スル物資ニ就テハ貴方輸送機關タル鐵道、船舶、郵政等ノ機關ニ於テ之ヲ引受クル際北支輸移入者カ豫メ中國聯合準備銀行ヨリ發給ヲ受ケタル發註承認又ハ無爲替移入許可ノ證明書ヲ輸移出者ニ送付スヘキニ付右證明書ヲ提出スルニ非サレハ之カ引受ヲ爲ササルコト(輸送機關ハ右證明書ヲ徵收シ輸移出者ヲ返付セサルコトトシ尙該貨物ノ包装ニ證明書提出旨適當ニ表示スルコト)

二、右手續ニ依ラスシテ到着シタル物資ハ北支ニ於テ適當ニ處分ヲナスヘキコトアルヘキコト

三事業審査關係
 一 本月中審査シタル事業許可左ノ如シ
 二 工業關係

件名	場設置	事業目的	出願人	資本金	條件又ハ理由
製造品種増加願ノ件	天津	日用水飴ノ製造	天津河北存養大號 グリ株式會社天津工場 北川利一郎	二千圓	
王冠工場設置願ノ件	天津	高壓王冠ノ製造 低壓王冠ノ再製	天津 德水硝子株式會社 濱田正一	五千圓	
中國牛乳股份有限公 司設立願ノ件	天津	牛乳ノ乳製品ノ 製造販賣	天津特三區二緯路 中條浩造	二十萬圓	
麻、帆布及皮革用品 製造願ノ件	天津	麻、帆布、皮革 用品ノ製造販賣	天津河北大經路三五 三慶洋行 阿部杏治	五萬圓	大木部除ノ 要塞モアリ
濰縣德榮染廠合併經 營ニ關スル件	濟南	綿布ノ製造加工	濰縣東海南溝街 鈴木格三郎	十萬圓	
日華製紙原料株式會 社設立ノ件	北京	製紙原料精製及 之ニ對スル附帶 事業	北京內四區 武王候同七號 根本幹三	七萬圓	

二 礦業關係

件名	礦種名	採掘箇所	出願人	資本金	條件及理由
雲母採掘願ノ件	雲母	江蘇省東海縣第三區安原鄉青龍山下大崗一帶地方	上海北四川路太和洋行代表 山西	五萬圓	
石炭採掘願ノ件	石炭	河北省房山縣里附近一帶地方	北京司法部前附野上東亞鐵業株式會社 野上辰之助	二十五萬圓	
金鑛開發願ノ件	金	河北省撫寧下落輪外一帶地方	大連市西通八四番地 西園慶助	八萬圓	

煉炭工場設立願ノ件	天津	豆煉炭、蓮六煉瓦製造販賣	天津日界南口街 江川德義	九十七萬圓	
華北皮革株式會社設立願ノ件	北京	製革及皮革品ノ製造	朝鮮皮革株式會社 中川似良	一百萬圓	
華北洋灰株式會社第二回徵收願ノ件	北京	第一回拂込五百萬圓 殘額五百萬圓	華北洋灰株式會社 櫻井正信	一千萬圓	
東京發動機株式會社天津工場設立願ノ件	天津	無機機、充電機、照明機、電機、各種發動機ノ製造	天津赤司初太郎	二十萬圓	
三和工業株式會社設立願ノ件	北京	暖房、水道、給排水並ニ衛生工事請負	北京朝陽門大街 濱本三善	十八萬圓	
硝酸製造願ノ件	天津	硝酸(自家用硫磺製造)ニ所製スル副原料ノ製造	天津利中製酸公司 鈴木直三	四萬圓	

三、其ノ他

件名	設置場所	事業目的	出願人	資本金	條件又ハ理由
映畫劇場營業願ノ件	南苑	活動寫眞ノ上映其 他ノ興行	北京東四十條胡 同 間島守正	二萬四千圓	
國際商事株式會社天 津出張所營業願ノ件	天津	華北葉煙草ノ代行 トシテノ材料ノ 他種運送貿易 通關	天津日界旭街 野村啓一	七千圓	華北葉煙草ノ 代行機關トシ テ從來ノ經營 モ有リ
坂本忠雄顯出滿洲農 產北支出張所設置願 ノ件	北京	農產加工品ノ製造 販賣	北京東安門北河沿 五四號 坂本忠雄	五萬圓	
株式會社北京グラン ドホテル營業願ノ件	北京	ホテル業	北京東長安街 星崎定五郎	二百五十萬圓	
京津實業有限會社設 立願ノ件	天津	不動産及不動産上 ノ權利取得、管 理、經營、處分	天津日界福島街 相良自助	五十萬圓	東拓ノ北支ニ 於ケル事業ノ 繼承ニ付
大連製氷濟南出張所 營業願ノ件	濟南	製氷、清涼飲料水 製造販賣	濟南商埠經四路緯 八路 本莊先平	二十萬圓	

東神倉庫株式會社天津出張所營業額ノ件	天津	倉庫業	天津佛界十一號路 四四號 山本海之助	八千圓	主トシテ三井物產ノ荷物ノ保管ヲナシ余アラバ一般ニ開放スルヲシテ開放スルニシテ物產ノ東神倉庫本支社ノ保險補助アルニ付
通裕洋行營業額ノ件	天津	物品保管業	天津日界松島街 打島勇熊	五千圓	石油ノ販賣ニ限リ
新隆商事株式會社營業額ノ件	北京	石油類、一般雜貨並土產物ノ販賣	北京內二區大中府胡同 神立柳一	一百萬圓	
日本鹽業肥料株式會社北京出張所設置額ノ件	北京	本社營業種目(肥料)並ニ北京支店ニ於ケル企業調査	北京內二區東斜街 植田正次	三萬五千圓	
亞細亞釀造公司設置額ノ件	豐臺	酒、味噌、醬油ノ釀造、販賣	豐臺同盛胡同八號 小山内義之	五萬圓	長谷川(成)部隊ノ要塞ニヨリ
田村商店北京出張所開設額ノ件	北京	毛織物、脫脂棉、酸素ノ販賣代理僚	北京市北池子二號 馬場嘉三	八千圓	
下歇工場設置額ノ件	天津	履物、荷造用木箱製造販賣	天津日界福島街 植田七兵衛	三千五百圓	

三、其ノ他

(一) 軍管理工場ニ對スル細毛棉割當ノ件

昭和十五年棉花年度ニ於ケル北支細毛棉ノ軍管理工場ニ對スル割當ハ左ノ通り決定ス

大興紗廠	一三、七一四擔	(三〇、一四四鍾)
河南第一	一一、九三八	(二六、二四〇)
河南第十	一〇、一九一	(二二、四〇〇)
鉅興紗廠	三、一七六	(六、九八〇)
仁豐紗廠	六、九九九	(一五、三八四)
魯豐紗廠	二、七四六	(二八、〇一六)
成通紗廠	八、九一七	(一九、六〇〇)
計	六七、六八一	(二四八、七六四)
天津紡並華人紡	二六八、一六八擔	(五八九、四三六鍾)
青紡	一七七、二八三	(三八九、六六八)

合計 五二三、一三二擔 (總噸數一、二二七、八六八)

供給噸數一、一二七、八六八ニ對シ民需割當量五一三、一三二擔ヲ算出割當セリ

(二) 輸入配給組合總聯合會設立ノ件

日本(外地ヲ含ム)及關東州等ヨリ輸入調整ヲ圖リ天津並ニ青島輸入配給組合聯合會及其所屬組合共同ノ目的ヲ達成スル爲メ三月二十日北京ニ於テ華北輸入組合總聯合會ノ設立ヲ見タリ

(三) 焦作中央更生合作社設置ノ件

焦作炭礦々業所ニ於テハ焦作中央更生合作社ヲ設立シ

ノ生活必需品ノ共同購入並ニ共同配給ニヨル物資ノ統制

2. 社員經濟ノ利益ト生活ノ改善

3. 従業員ノ食糧自營策

4. 礦區人民ノ把握ニヨル治安維持

